

SEED (シード)

Vol.017
2023.10月

令和5年度「駒大生社会連携プロジェクト」も折り返しの時期となりました。今回は5団体から、9月、10月の活動報告がありました。

【世田谷区部門】文学部 李 妍焱先生プロジェクト活動報告 インタビュー調査を継続中！ 11月よりゲストを招いたダイアログ企画が始動します。

後期に入り、更にインタビュー調査を進めています。9月27日には世田谷区大蔵の『三年鳴かず飛ばず』プロジェクトを立ち上げた安藤勝信さん、9月30日には下北線路街の開発プロジェクトの担当者である小田急電鉄の向井隆昭さん、10月2日には世田谷区住民に向けた情報を発信する『NPO法人まちこらぼ』の運営を行う太田雅文さんにお話を伺いました。

インタビューを続けるうちに、それぞれの事例に共通する特徴や考え方が徐々に明らかになり始め、市民的コモンズの全体像が掴めそうな手応えを感じております。インタビューが終盤を迎え、同時に少しずつゼミ論集執筆のための先行研究の見直しを行っております。



11月からは全3回で開催予定のゲストを招いたダイアログ企画も始まりますので、より一層の研究意欲を持ってゼミ活動に取り組んで参ります。

【世田谷区部門】経済学部 松本 典子先生プロジェクト活動報告

まちのキーパーソンから学ぶ

「せたがやのコミュニティ活性」に関する基礎研究：講演＆交流会開催

まちのキーパーソンから学ぶの第1回目として、9月21日に、尾山台のタタハウスにて、まめくらし代表取締役の青木純さんをゲストにお呼びして講演＆交流会を行いました。

「新しいパブリックの作り方」というテーマを基に、まちづくりアドバイザーからの視点を、私たち20名ほどの参加者へお話していただきました。

はじめに、「よいまち」とはなにか？というシンキングタイムを経て、講演が始まりました。青木さんは、よいまちをつくるため日常の登場人物を増やすこと、境界線を低く緩くすることを心がけているといいます。その例として、住人参加型のお祭りを開催したり、花壇の黒板を用いて会話したりするなど「共創」のまちを生み出しています。



また、生まれ育った豊島区では特に力を入れて活動していて、積極的な改革を行った結果、悪い印象を持たれがちだった池袋も、住みやすく子育てしやすいまちとなったそうです。数々の失敗を重ねながらも、仲間や地域の人々とのコミュニケーションを大切に、全国各地で「新しいパブリック」を作っています。

【世田谷区部門】経営学部 小野瀬 拡先生プロジェクト活動報告 「ACP？ 人生会議を知る」を開催

展示企画「ACP？ 人生会議を知る」を開催しました。

この企画は、世田谷区を対象としたACP
(Advance Care Planning) の普及啓発を目的に
行ったものです。



私たちの制作したACPポスター案を9月1日から20日にかけて種月館2階ウイステリアにて、
9月16日には世田谷区在宅療養講演会・シンポジウムで展示しました。



多くの方にご覧いただき、暖かい言葉もいただき
ました。そしてポスター案の投票のご協力
もいただきました。この結果をもとに採用された
ポスターを後日発表いたします。
どうぞお楽しみに。

【SDGs部門】医療健康科学部 村田 渉先生プロジェクト活動報告

駒澤大学高等学校との交流会を開催しました。
オープンキャンパスに再び協力しました。

9月17日に神奈川大学附属中・高等学校の第39回くすのき祭（文化祭）のイベント開催に協力しました。くすのき祭では神奈川大学附属校理科部の学生さんが主体となり、放射線防護カードゲームのブース運営、サイエンスショーでの発表をしていただきました。小学生が多く集まる中、カードゲームを通して放射線の防護について楽しみながら学ぶ様子が見られました。



また10月17日に第2回全体ミーティングを開き、オープンキャンパス、公開講座、教育学会、駒澤大学高等学校・神奈川大学附属校との交流会など各イベント成果について報告を行いました。全てのイベントに関して放射線の正しい知識を学んでもらうと同時に、高い興味・関心が得られ実りのある活動となりました。

【産学官連携部門】文学部 藤野 一之先生プロジェクト活動報告

駒大生社会連携プロジェクト展示

「川角古墳群が伝えるもの -駒澤大学の調査から-」開催中！

4月から進めてきた企画展示の制作も大詰めを迎え、10月11～12日にかけて毛呂山町歴史民俗資料館と駒澤大学にて、企画展示の準備を行いました。毛呂山町歴史民俗資料館では、学芸員の植田雄己氏ご指導の下、展示パネルの設置やキャプションの制作などを行いました。

また測量調査で見つかった遺物も展示するため、遺物を選びガラスケースに展示する作業も合わせて行いました。準備に丸一日かかりましたが、無事に企画展示を完成させることができました！

今回の企画展示を通して、企画展示をご覧になる方々に少しでも川角古墳群の魅力をお伝えできればと思っております。



約半年かけて一生懸命制作した駒大生社会連携プロジェクト展示「川角古墳群が伝えるもの -駒澤大学の調査から-」は、毛呂山町歴史民俗資料館・駒澤大学種月館2階ウイステリアにて、10月14日～2024年3月10日まで(大学では2023年12月21日まで)開催しております。

「川角古墳群って何だろう？」と思ったそこのあなた！ぜひお立ち寄りください！お待ちしております。

駒澤大学の社会連携に関する最新情報は、

社会連携センターのホームページでご案内しております。 → [社会連携センター「お知らせ」](#)